児湯地域の普及活動（普及活動月報）

令和８年９月　児湯農林振興局

（児湯農業改良普及センター）

目次

Ⅰ　管内農業・農村の主な動き　（Ｐ２）

１）令和8年9月期子牛セリ市が開催【新富町】

２）第13回全国和牛能力共進会宮崎県出品対策共振会が（プレ全共）開催【都城】

Ⅱ　主な普及指導活動等の取組

1　地域プランに基づく普及活動　（Ｐ3～4）

１）児湯地区農業者研修のステップアップ研修を実施【全域】

２）県中小企業診断士協会農業経営研究会がピーマン法人経営体で勉強会を実施【西都市】

３）ピーマン自主学修グループの定例会に参加【西都市】

４）各学修グループ(ピーマン)の現地検討会に参加【西都市】

５）かんしょの収量調査を実施【新富町】

６）さといもの収量調査を実施【川南町】

７）肉用牛繁殖部門基礎勉強会が開催されました【全域】

８）ゆず収穫作業効率分析調査実施【西米良村】

2　地域課題一覧に関する普及活動　（Ｐ5～7）

１）「川南町新規就農者支援協議会会議」が開催【川南町】

２）鳥獣被害対策展示ほの設置を行いました。【西都市】

３）【展示ほ】飼料作物

４）JAみやざき児湯地区本部きゅうり専門部Dプロ定例会に参加【高鍋町】

５）JAみやざき尾鈴地区本部ハウス胡瓜部女性部講習会に参加【川南町・都農町】

６）JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会現地検討会に参加【都農町】

７）JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会勉強会が開催【川南町・都農町】

８）JAみやざき児湯地区本部トマト専門部現地研修会に参加【新富町】

９）JAみやざき尾鈴地区本部ミニトマト部会現地巡回を実施【川南町・都農町】

10）JAみやざき児湯地区本部ライチ定例会に参加【新富町】

11）スイートピー高温対策展示ほ設置【川南町】

12）気象データ情報提供【管内全域】

Ⅲ　参考　（Ｐ7）

９月の気象（宮崎気象台：西都市）

Ⅰ　管内農業・農村の主な動き

１）令和8年9月期子牛セリ市が開催【新富町】

７～８日に児湯地域家畜市場において開催されました。普及センターからは審査場においてセリ市研修会を実施し、飼料分析をしてみようと題して、飼料分析の出し方や分析結果の見方の話をしました。セリ市では、平均価格（売却）は去勢897千円、雌834千円でした。

２）第13回全国和牛能力共進会宮崎県出品対策共振会が(プレ全共)開催【都城】

26日に都城地域家畜市場でプレ全共が開催されました。児湯地域では第１区（繁殖牛雌牛群）で横山穂積氏、（株）義直牧場様、永友雅彦氏が優等３席に、第４区（若雄の２）で松岡講二氏が優等１０席に入賞されました。おめでとうございました。

Ⅱ　主な普及指導活動等の取組

1　地域プランに基づく普及活動

1）児湯地区農業者研修のステップアップ研修を実施【全域】

　７日に児湯地区農業者研修のステップアップ研修の一環として、「我が家の経営は安全？」を開催しました。宮崎県よろず支援拠点　中小企業診断士の新田　裕章氏を講師に招き、農業経営の基礎について研修しました。
　受講者からは、印象に残った内容として、資金繰り表の作成が多く、有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

2）県中小企業診断士協会農業経営研究会がピーマン法人経営体で勉強会を実施【西都市】

　15日に県中小企業診断士協会農業経営研究会に所属する４名の中小企業診断士が、西都市のピーマン生産法人(株)イニーファームを訪問し、経営管理、雇用管理等の現状を聞き取り、今後の診断士業務に活かすための勉強会が行われました。診断士からは、部門毎のキャッシュフロー計画書を作成するとより経営管理がしやすくなるのではないかなどの助言がありました。
　勉強会は今年あと２回行われる予定です。



【勉強会の様子】

3）ピーマン自主学修グループの定例会に参加【西都市】

　29日に普及センターにて、ピーマン生産者で組織している黒生野アグリ研究会の定例会が開催され、生産者６名、西都市職員、普及センターが参加しました。定例会では、西都市から各種補助事業の紹介、普及センターから定植～定植1ヶ月後の管理について説明を行い、今後の補助事業の活用や今作の栽培管理について、活発な意見交換が行われました。
　今後も引き続き、グループ活動の支援を行っていきます。



【定例会の様子】

4）各学修グループ(ピーマン)の現地検討会に参加【西都市】

　促成ピーマンでは定植が概ね完了するとともに栽培が始まり、各学修グループの活動が本格的に開始しました。24日は黒生野アグリ、25日はJAみやざき西都地区本部ピーマン部会の新規就農者グループ(千田団地)の現地検討会が開催されました。それぞれのほ場で現状の管理や、今後気をつけたい点などについて、様々な意見交換が行われました。引き続き、現地検討会等に参加し、学修グループの活動支援を行ってまいります。



【現地検討会の様子】

5）かんしょの収量調査を実施【新富町】

29日に「かんしょ」の展示圃の収量等の調査を行いました。
展示圃は、地域で課題となっているサツマイモ基腐病やつる割病等に抵抗性をもつ「コガネタイガン」と温暖化対策として「白マルチ」などの効果を確認しています。
展示成績については、普及センターで取りまとめ、展示農家の意見の聞き取りや技術員会等で検討し、講習会等で生産者へ紹介し栽培支援を行っていきます。


【かんしょの堀取り風景】

6）さといもの収量調査を実施【川南町】

18日に「さといも」の展示ほの収量調査を行いました。展示ほは、中晩生の「さといも」について、地域の適応性が高い品種を選抜することを目的としており、総合農業試験場が育成した品種等を植え付けました。
また、収量調査は、県立農業大学２年のインターシップ生と一緒に行いました。インターシップ生は、さといもの堀取りは初めてで、慎重に掘り起こしていました。
「さといも」は、ピーク時からは作付面積が激減しておりますが、産地の再編・拡大に向けて、引き続き、取組を進めてまいります。


【さといもの堀取り風景】

7）肉用牛繁殖部門基礎勉強会が開催されました【全域】

29日に一般社団法人宮崎県配合飼料価格安定基金協会の須崎理事をお招きして、「飼料コストを下げるために～配合飼料や放牧について知ろう～」と題して、飼料価格の動向や放牧の始め方などを講演いただきました。

8）ゆず収穫作業効率分析調査実施【西米良村】

25日に村内ゆず園地でゆず収穫の作業効率を分析するための調査が行われました。
平地か傾斜地か、樹の大きさ等の条件が違う複数園地で、実際の収穫作業や選果作業の動画撮影と聞き取りを行いました。
今回は青ゆずの調査で、次回は黄ゆずの収穫についても同様の調査を行い、各条件で収穫作業の効率を最大化するためにどうしたらよいかを検討していきます。


【現地調査の様子】

2　地域課題一覧に関する普及活動

1）「川南町新規就農者支援協議会会議」が開催【川南町】

１日に、川南町新規就農者支援協議会会議が開催され、今年度から新たに開始した、いちごの新規就農者農業者研修等について協議しました。
第１期生として一人が研修中であり、今後も新たな研修生を県内外から幅広く募集していく予定です。

2）鳥獣被害対策展示ほの設置を行いました。【西都市】

東米良の牛舎にイノシシが侵入し、牛のエサを盗食したりイノシシが持ち込んだ病気が牛に伝染するなどの被害が多発していました。そこで鳥獣被害対策の展示ほとして、農家・関係機関、農業大学校からのインターンシップ生２名とともに鳥獣害対策ネットの設置作業を実施しました。参加者のほとんどが初めての作業となりましたが、どうにか設置することができました。今後はカメラを設置し、ネット柵の効果を確認していきます。



【ネット柵の設置状況】

3）【展示ほ】飼料作物

17日に短尺ソルゴーの栽培実証展示ほ、19日にスーダン型ソルゴー及びルジグラス（２番草）の栽培実証展示ほの生育調査を実施しました。

4）JAみやざき児湯地区本部きゅうり専門部Dプロ定例会に参加【高鍋町】

７日にJAみやざき児湯地区本部きゅうり専門部の定例会に参加しました。定例会では、前作での取組振り返り及び今作の活動の検討が行われました。普及センターからは、Ｄプロに関連する県内の他地区の優良事例を紹介し、取組内容について生産者と意見交換を行いました。今後も生産者の安定した生産量の確保に向け、支援していきます。



【定例会の様子】

5）JAみやざき尾鈴地区本部ハウス胡瓜部女性部講習会に参加【川南町･都農町】

16日にJAみやざき尾鈴地区本部ハウス胡瓜部女性部会講習会に参加しました。普及センターから、これからの管理のポイントや、気をつける病害虫について講習を行いました。生産者からは、わかりやすい内容で、基本に立ち返ることができたとの意見が出ました。安定した栽培に向け、引き続ききゅうり生産者の支援を行っていきます。



【講習会の様子】

6）JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会現地検討会に参加【都農町】

１日にJAみやざき尾鈴地区本部いちご部会都農支部の現地検討会が開催されました。JA、普及センターが参加し、この日は生産者と共に３ほ場を巡回し、育苗状況の確認を行いました。

かん水方法や施肥について、生産者同士で活発な意見交換が行われ、有意義な現地検討会になりました。今後もいちご部会を支援していきます。



【現地検討会の様子】

7）JAみやざき尾鈴地区本部いちご部会勉強会が開催【川南町・都農町】

18日にJAみやざき尾鈴地区本部いちご部会勉強会が開催され、生産者25名程度とJA指導員５名が参加しました。普及センターから「苗管理・定植のポイントについて」話をした後、総合農業試験場の黒木修一センター長が「いちご栽培開始時の注意」についてを講習しました。

参加した生産者からは、農薬の散布サイクルや、ビニルを張るタイミングについての質問や次回の開催要望も挙げられ、有意義な勉強会になりました。



【勉強会の様子】

8）JAみやざき児湯地区本部トマト専門部現地研修会に参加【新富町】

17日にJAみやざき児湯地区本部トマト専門部現地研修会に参加しました。生産者11戸、種苗メーカー、JA、普及センターで現地ほ場２ヶ所を巡回し、生育状況の確認を行いました。普及センターから、トマトキバガの防除対策について講習会を行い、ハウス周りの除草や防虫ネットの隙間を塞ぐなどの対策を徹底するよう助言しました。引き続きトマト生産者の支援を行っていきます。



【現地巡回の様子】

9）JAみやざき尾鈴地区本部ミニトマト部会現地巡回を実施【川南町・都農町】

29日にJA指導員、種苗メーカー、普及センターでミニトマトほ場の巡回を行いました。この日は定植直後から収穫開始時期の４ほ場を巡回しましたが、定植後の生育不良や病害虫防除について生産者と意見交換が行われました。

今後もミニトマト部会を支援していきます。



【現地巡回の様子】

10）JAみやざき児湯地区本部ライチ定例会に参加【新富町】

29日にJAみやざき児湯地区本部ライチ定例会が開催され、生産者、JA、普及センターが参加しました。普及センターからは、東京で実施した県産品点検及び市場調査の結果について報告を行い、課題解決に向けて活発な意見交換が行われました。今後もライチ生産者の支援を行っていきます。



【定例会の様子】

11）スイートピー高温対策展示ほ設置【川南町】

10日に植え付けが行われたスイートピー（品種：ロイヤルホワイト）において25日に展示ほの設置を行いました。スイートピーで毎年問題となっている高温障害の対策として、本年度は整枝法を変更することによって高温の被害が軽減できないか確認するための展示ほになります。

今後特に高温障害が発生する10月下旬～12月上旬にかけて生育調査等を継続実施し、効果の確認を行っていきたいと考えています。

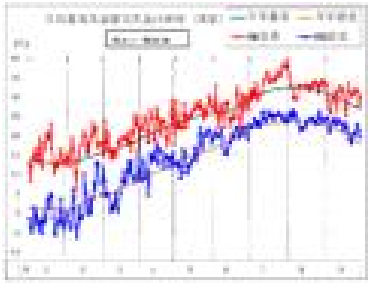


【スイートピーの生育状況】

12）気象データ情報提供【管内全域】

毎月旬毎に気象データ（最高・最低温度、降水量、日照時間）をグラフ化し、施設園芸、ピーマン、きゅうりのグループに情報提供を実施しています。

今後は花き（スイートピー）グループ等にも提供を実施していきます。



【提供するグラフ（一部）】

Ⅲ　参考

９月の気象(宮崎気象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	26.0	27.9	25.9	232.0	293.0	80.2	18.3	71.1	55.1
中旬	25.8	27.6	24.7	136.0	4.0	128.2	39.5	70.0	51.6
下旬	24.8	25.6	22.8	12.0	117.5	113.1	72.8	28.6	46.3
月	25.5	27.0	24.5	380.0	414.5	321.5	130.6	169.7	153.0

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！
ひなたMAFiN
宮崎県 農林水産業ナビ マフィン
ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation
農林水産業に関する
➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
➡ タイムリーな情報をＳＮＳなどを活用して発信！
➡ 皆さまの思いや意見を集約！
ひなたＭＡＦｉＮ 検索
メルマガ登録はこちら